

第 2 回 Tokyo Textile Scope 2026 Autumn/Winter 開催



JFW 主催の新生テキスタイル展、第 2 回 Tokyo Textile Scope 2026 Autumn/Winter (略称：TTS)を、開催します。TTS は、業種、世代、産地、あらゆる垣根を超えた交流、情報交換の場として、また、「産産連携」、「産学連携」による新たなビジネスチャンスを生み出す場として、そして日本のものづくりのクオリティと価値を世界に発信する場として、繊維・ファッション業界全体の発展を図ります。

第 2 回 TTS では 2 階に、トレンド&インデックスコーナー、Want's Next Textile などの人気コーナーに新企画も加え、だれもが新しい発見を見いだせる、企画展ゾーン設けます。

◇ 日時：2025 年 11 月 12 日（水）-14 日（金）

10：00－18：00(最終日は 16：00 まで)

◇ 会場：東京都立産業貿易センター 浜松町館

◇ 後援：16 団体

経済産業省 / 外務省 / 知的財産戦略本部 / 独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ） /

独立行政法人中小企業基盤整備機構 / 東京都 / 日本商工会議所 / 日本繊維産業連盟 /

日本化学繊維協会 / 一般財団法人日本ファッション協会 /

一般社団法人日本アパレル・ファッション産業協会 / 一般財団法人ファッション産業人材育成機構 /

一般社団法人日本百貨店協会 / 日本繊維輸出組合 / 日本繊維輸入組合 / 日本ジーンズ協議会

◇ 出展者：社数／小間数： 281 社／220 小間 ※出展者リスト・会場図面別添

●新規出展：8 社

JFW 主催の国内展（JFW-JC および PTJ 展）に出展履歴のない企業（以下 8 社）

鈴憲毛織(株)／積水ナノコートテクノロジー(株)／全国シロセツ加工業協同組合／HUANYIN

TEXTILE TECH CO., LTD.<China>／Naariah Clothing Fabric Company<China>／

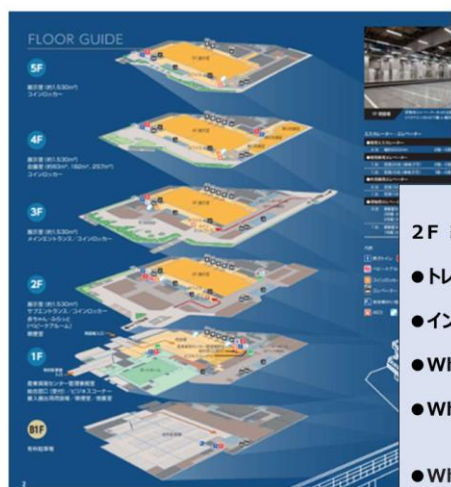
SHENGZHOU KEER TEXTILE CO., LTD.<China>／WenZhou HongYun Leather Co.,

ltd.<China>／Zhangjiagang Free Trade Zone Hengchuang Textile Co., Ltd. <China>

会場レイアウトは、2 階に主な企画展ゾーンを集結

第 2 回 Tokyo Textile Scope では、2 階に企画展ゾーンを設け、若手クリエイターから熟練技術者まで、だれもが新しい発見を見いだせる、企画展示コーナーを構成します。イベントスペースでは、「Piggy's Special (ピグスキンファッションショー)」をはじめ、What's Next セミナーなど、様々なイベントを行います。

第 2 回 Tokyo Textile Scope 主な構成プラン



● 出会い・発見・交流・新たな創造が始まる**出展企業ゾーン(素材カテゴリー別)**

5F: シルク・シルク複合
4F: デニム・綿・麻・プリント/染色・刺繍/レース・ニット・パイル/服飾資材・皮革
3F: 化繊・ウール

● **産地フォーカス**: 日本の繊維産地のものづくりの強みと魅力をシリーズ化して紹介

2F 総合インフォメーションと企画展ゾーン…TTSコンテンツ発信

● **トレンドコーナー**: 出展者素材で構成するバイヤー必見のテキスタイルトレンド発信コーナー

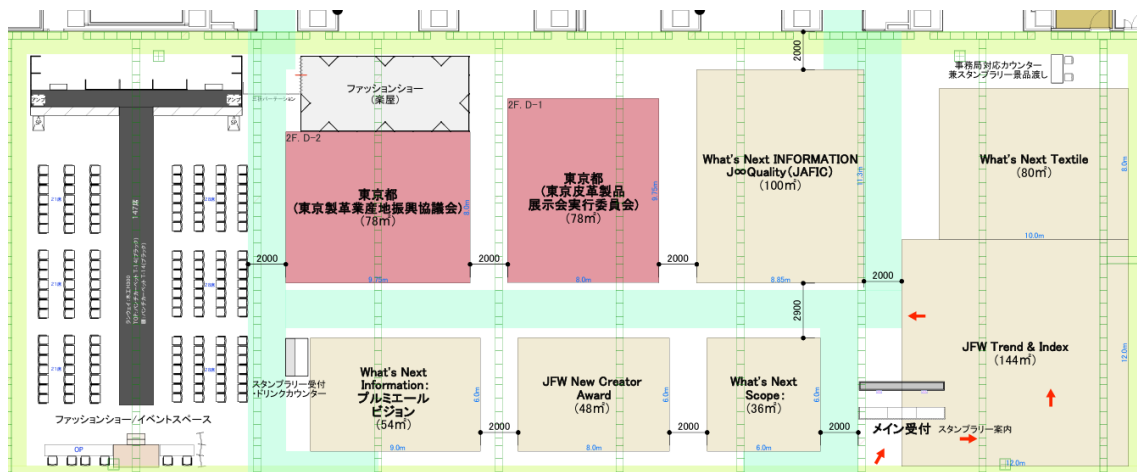
● **インデックスコーナー**: 出展者のイチ押し素材が把握できる素材一覧

● **What's Next Textile**: 次の売れ筋を探る人気素材投票

● **What's Next Scope**: 新商品開発や新規事業開拓に取り組むスタートアップ企業などの注目したい素材・事例を紹介

● **What's Next Information**: 繊維ファッションの新着情報を発信

2F: 企画展ゾーン



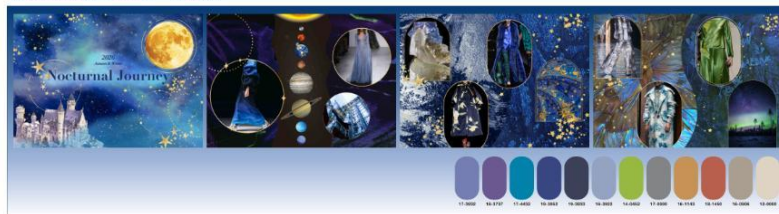
■JFW Trend & Index

2026 A/W のトレンドコンセプトは “さすらう” 世界は急速に変わり、不安の中をさまよう今！
見えないものを見、世の中の新しい動きをとらえ、多くの声を聞き、未来へ繋いでいく、昨日、今日、明日、
へと、時は変わらず繰り返されます。今回のトレンドコーナーは、世の中の進化を見据え、未来へ進む気
持ちはイメージして、「先へ」をコンセプトに、進化の様・命を表現し、空間演出します。

◆ 2026 Autumn/Winter （4テーマ）：

夜間飛行 - Nocturnal Journey - ウェーブパフォーマンス - Wave Performance -
- しらべ -
あまねきの旋律 - Resonating Tunes - ほっこり時間 - Unwinding Moments -

Nocturnal Journey - 夜間飛行



Wave Performance - ウェーブパフォーマンス



Resonating Tunes - あまねきの旋律



Unwinding Moments - ほっこり時間



The above colours may not match Pantone identified standards due to the limitations of photography. Consult Pantone Textile Colour Guide for accurate colours.
※上記の色は写真によるもので、Pantone 指定の色と異なる場合があります。正確な色を確認するためには、Pantone Textile Colour Guide を参照してください。

■What's Next Textile

PTJ 展でスタートした「What's Next Textile」は、次の売れ筋を探る人気素材投票コーナーです。出展者から応募を募り審査を通過した素材を会場に展示する、来場者参加型のこの企画は、今回で 6 回目の開催です。来場者の注目度も高いこのコーナー、ここで見た生地を求めてブースを訪れるバイヤーも増えています。

48 社・101 点の応募の中から、厳選した 48 点を展示します。

■What's Next Scope 「ovoveil（オボヴェール）」

「What's Next Scope」は、新商品開発・新規事業開拓に取り組むスタートアップ企業など、今注目したい素材・事例を紹介します。今回は(株)ファームフーズ社が提供する、肌をバリアする卵殻膜から生まれた新しい繊維 ovoveil（オボヴェール）を紹介します。日本国際博覧会（大阪・関西万博）のヘルスケアパビリオンに出展し、多量に破棄される卵殻膜をリサイクルすることで、CO2 削減につながるサステナブル素材で、「ひとと地球にやさしい繊維」として紹介されました。デザイナー井野将之氏の、doublet(ダブルレット)が 2026SS コレクションで使用し、パリメンズファッションウィークで発表したことでも、注目を浴びている素材です。TTS では、doublet(ダブルレット)の製品とともに、ovoveil（オボヴェール）を展示します。

■What' Next Information

「J∞Quality (JAFIC) プロモーションブース」

「J∞QUALITY」(略称：JQ)は、日本（Japan）が誇る、品質（QUALITY）を限りなく（∞）追求して、世界に向けて発信していくことを使命に掲げ、日本のアパレル・ファッション産業の需要創造と、繊維・縫製産地の維持、活性化を目指しています。



J ∞ QUALITY

今回は日本を代表する匠技術の J∞QUALITY 工場をご紹介します。1 月 PITTUOMO 出展予定の JQ Factory Brand Project(略称：JQFBP)グループ 8 社と縫製業などの企業 JQ グループ 6 社、合計 14 社が出展します。JQFBP のコーナーでは、今年 1 月に世界最高峰のイタリアメンズ展示会 PITTU UOMO 展に出展した商品と、9 月に香港の老舗ファッション百貨店 Lane Crawford での POPUP イベントで好評を得た、内田染工場による絞り染めの実演を行います。JQ グループのコーナーでは、日本の婦人服、紳士服の TOP レベルの縫製技術や世界の著名会社に素材提供している工場を紹介します。世界に挑戦する日本のものづくりの底力と国内でのものづくりへの再認識を促進する機会となるでしょう。

「J∞QUALITY」(略称：JQ) とは・・・

▷織布・編立、染色整理加工、縫製の各工程すべてを国内の承認ファクトリーで行った純正の日本製であることを示す統一ブランドです。

▷トレーサビリティ(生産履歴)が開示された安心・安全な商品です。

▷日本ならではの精緻な技と、無限大の豊かな創造力が注ぎ込まれています。

JQFBP グループ

(株)内田染工場、(株)エminentスラックス、カジナイロン(株)、(株)サンライン、(株)第一ニットマーケティング、
(株)谷繊維、(株)マルチョウ、山陽染工(株)

JQ グループ

若手モリヤ(株)、(株)東和プラム、東洋紡糸工業(株)、(有)ファッションしらいし、丸和ニット(株)、(株)モンスター

■What' Next Information

「プルミエール・ヴィジョンプロモーションブース」

フランス・パリをはじめ世界各地にて開催のテキスタイル関連見本市であるプルミエール・ヴィジョンと、ファッション展示会のトラノイを傘下に収める GL イベント社のファッション部門のプロモーションブースです。ブース内では各展の概要や日程をご紹介すると共に、実際の会場の様子などを動画にてご覧いただけます。また、プルミエール・ヴィジョン 2026/27 秋冬シーズンのカラー情報も発信いたします。プルミエール・ヴィジョンやトラノイ各展へのご出展、ご来場にご興味がある方、すでに具体的なご検討を始められている方など、各種お問い合わせやご相談にも対応いたします。

インキューベーション事業もスタート

NEW CREATOR AWARD 最優秀賞を 2 日目に発表

一般社団法人日本ファッション・ウィーク推進機構（JFW）は、“日本の創造力を世界へ”をキーメッセージに、日本のファッション産業をグローバルに発信するプラットフォームを構築しています。産地企業とデザイナー、バイヤーをつなぐネットワーク形成の実現を目指し、インキューベーション事業もスタートしました。

■JFW NEW CREATOR AWARD

次世代の繊維、ファッション業界を担う人材育成プロジェクトとして、JFW による新しいコンテスト『JFW NEW CREATOR AWARD』(略称：NCA)をスタートしました。～なりたがる形がある～ というアワードのコンセプトに基づき、テーマ素材からデザインストーリーを展開するミッション型のコンテストです。服飾専門学校・大学の学生・アマチュアクリエイターからの、総数 1309 点の応募の中から、1 次審査～2 次審査を通過した作品 15 点を展示発表します。

11 月 13 日(木)16：30 から、会場内イベントスペースで、最優秀賞（１）、優秀賞（２）の発表

～表彰式を行います。優秀作品 3 点は、次回(2026 年 2 月)の、プルミエール・ヴィジョン展で展示し紹介します。最優秀賞 1 名は。パリ渡航の特典もつきます。

＜審査員＞

審査委員長 滝沢 直己 (Naoki Takizawa) 氏

審査員 江角 泰俊 (EZUMi) 氏

審査員 廣川 玉枝 (SOMARTA) 氏

＜協力企業＞

デニム生地提供： カイハラ(株)、山陽染工(株)、篠原テキスタイル(株)

ウール生地提供： オパレックス(株)、三洋毛織(株)、時田毛織(株)、中隆毛織(株)、中伝毛織(株)

Photo: 一次審査会

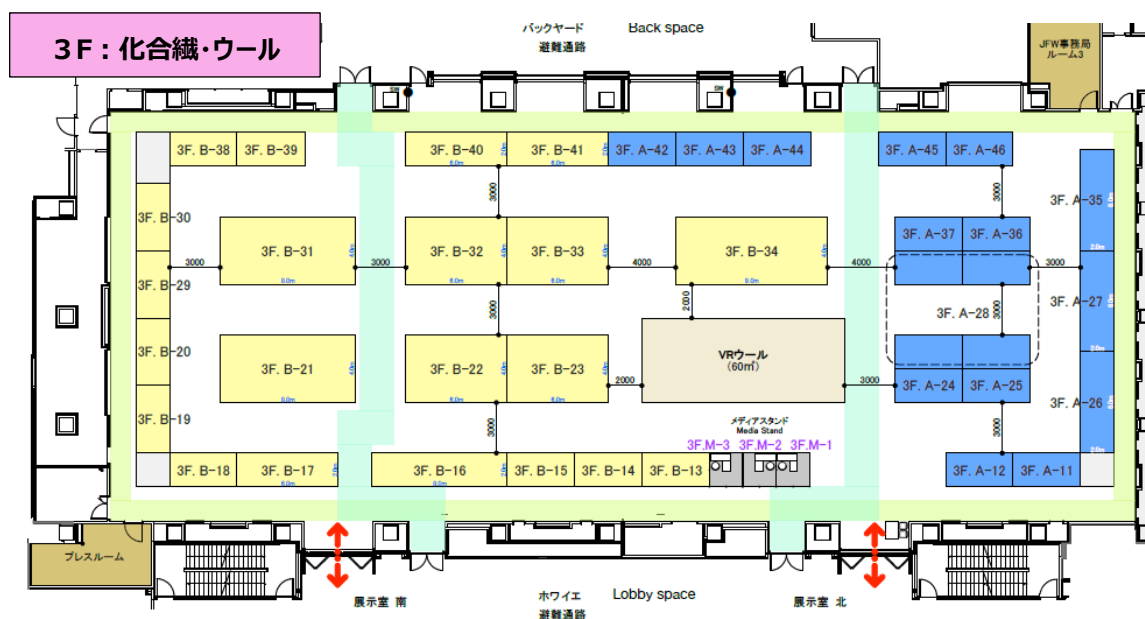


■JFW FABRIC CONNECTION

一般社団法人日本ファッション・ウィーク推進機構 (JFWO) は、新規企画として、JFW コレクション事業に参画するファッションデザイナーと、TTS 出展テキスタイル企業との新たな出会いを創出するマッチングプログラム「JFW Fabric Connection」を始動しました。

「JFW Fabric Connection」では、TTS2026AW 展の会場内にて、デザイナーとテキスタイル企業が直接対話できる初の対面マッチングの機会を設けます。素材開発や調達に関する課題を共有し、協業のきっかけを創出することを目的としています。

JFW FABRIC CONNECTION



産地フォーカス第二弾「ウール」

尾州の匠生産工場 VR(仮想現実)疑似体験

日本テキスタイル唯一無二のクオリティは、日本各地の地域特色を生かして独自に継承・発展してきた繊維産地の形成が基盤です。TTS では、こうした産地の魅力を取り上げていきます。第一弾は、世界からも注目される日本の「デニム」に焦点を当てました。

この企画は、7 月ミラノウニカ、9 月プルミエール・ヴィジョンでもレビューを行い、海外のバイヤーからも高い評価を受け



ました。TTS としてはこの企画をシリーズ化し、幅広くプロモーションすることで、 Photo: 2025 年 5 月開催
日本のものづくりの魅力を世界に発信し、日本のテキスタイルの普及を促進することを目的としています。

近年アパレル商品は、短サイクルの生産 & 販売が求められ、商品企画のデザイナーが産地に足を運び時間をかけて商品開発する機会は激減しています。よりグローバル化する背景に於いて、世界基準のテキスタイル生産技術を理解しものづくりに携わることは大変重要です。産地を訪れたことのない、若手デザイナーや学生も、いろいろな産地訪問をバーチャル体験することで、日本のテキスタイル生産技術レベルの高さを体感する貴重な体験ができます。また、生産者にとっても他産地の特徴を学べる場となります。それぞれの産地の特徴を活かした産地間連携の足掛かりとなる発見もあります。

TTS の産地フォーカスは、人材育成、産産連携の起点となる、重要なプロジェクトです。

第二弾は「ウール」。匠の技術が求められる「ウール」の生産現場尾州産地の、開発プロセスを、バーチャルリアリティで体感・学習ができる疑似体験コーナーです。映像は、ダイナミックに撮影した産地の俯瞰から始まり、撚糸、染色、織、整理加工、などの生産工程に接近し、生地が製品になるまでのプロセスを追います。

<撮影協力企業>

紡績（梳毛） 東和毛織(株)

紡績（紡毛） 大和紡績(株)

染色（かせ・チーズ染） 永田染工(株)

準備工程（オートドローイングシステム） 中伝毛織(株)

準備工程（手仕事によるドローイング、ションヘル） 小塚毛織(株)

製織（革新織機） 中伝毛織(株) / 国島(株)

丸編み 宮田毛織工業(株)

撚糸 小笠原(株)

加工 (株)ソトー

牧羊風景 ザ・ウールマーク・カンパニー



今回の撮影では、ドローンによる迫力ある工場現場の映像に加え、尾州を代表する若手からベテランまでのテキスタイル・デザイナーが、それぞれの「ものづくり」への想いを語ります。さらに、ユナイテッドアローズ上級顧問・栗野宏文氏が、世界を魅了する尾州ウールの魅力と、その背景にあるクラフトマンシップについて深く語ります。

2 日目には、イベント会場で関連セミナーを開催します。

「Scope on Wool」ウール産地の今とこれから (言語：日本語)

日時：11 月 13 日 (木) 13:30-14:30

開場：2F イベントスペース

What's Next セミナー、Fashion Show、会期中のプログラム紹介

2 階に開設するイベントスペースでは、3 日間多彩なプログラムを準備しています。産地フォーカスや What's Next 関連のセミナーのほか、終日関連イベントを開催します。必ずここで新しい発見が得られるでしょう。初日 12 日は、東京都主催のピッグスキンファッションショー「Piggy's Special」を開催。東京都内の服飾専門学校 12 校と、デザイナー 3 名のコレクションを、3 回のステージで発表します。今回のイベントのトピックスを紹介します。

●「Piggy's Special」ピッグスキンファッションショー 開催

Designer Collection: 17:00

MAHOROOGINO 荻野 茉藍 (Mahoro Ogino)

HOUGA (ホウガ) 石田 萌 (Moe Ishida)

Natsumi osawa 大澤 夏珠 (Natsumi Osawa)

Academia Collection: 13:00 / 15:00

専門学校青山ファッションカレッジ / 織田ファッション専門学校 / 江東服飾高等専修学校 /
渋谷ファッション&アート専門学校 / 東京ファッション専門学校 / 東京服飾専門学校 /
東京モード学園 / ドレスメーカー学院 / 華服飾専門学校 / 専門学校ファッションカレッジ桜丘 /
文化服装学院 / 目白ファッション&アートカレッジ (12 学校)

●産地フォーカス セミナー「Scope on Wool」ウール産地の今とこれから

日時：11 月 13 日 (木) 13:30-14:30

会場：2F イベントスペース

モデレーター：宮浦 晋哉 氏 (㈱糸編 代表取締役/JFWO テキスタイル事業 プロジェクト担当)

パネリスト：岩田 善之 氏 (㈱イワゼン 代表取締役)、足立 聖 氏 (Canale Japan(株) マイスター)、大滝 友達 氏 (中伝毛織(株) 企画部チーフデザイナー)、安江 滋 氏 (ザ・ウールマーク・カンパニー ビジネス・デベロプメント・マネージャー) ほか

サステナブル素材としても世界的にも注目を集めるウール。愛知・岐阜に広がる尾州産地は、イギリスのハダースフィールド、イタリアのピエラと並び「世界三大毛織物産地」のひとつとして、国内外から高い評価を受けてきました。そんな国内のウール産地に長年関わられているゲストをお招きして、テキスタイルづくりの裏側や産地の可能性をクロストークしていきます。

●「日本の生地が広げるクリエイションの可能性」

日時：11 月 14 日 11:30-12:45

会場：2F イベントスペース

モデレーター：宮浦 晋哉 氏 (㈱糸編 代表取締役/JFWO テキスタイル事業 プロジェクト担当)

パネリスト：㈱ユナイテッドアローズ 上級顧問 栗野 宏文氏、小林 祐 氏 (IRENISA デザイナー)、安倍 悠治 氏 (IRENISA デザイナー)、舟山 瑛美 氏 (FETICO デザイナー)

このセミナーは、学生の皆さんや若手クリエイターにぜひ参加していただきたいセミナーです。

日本は、糸づくりから生地生産まで一貫して国内で行える数少ない国のひとつであり、デザインから最終的なクリエイションまでを国内で完結できる点に大きな強みがあります。さらに、他の生産国と比較しても品質の高さに定評があり、これこそが「日本のものづくり」の最大の魅力です。

Tokyo Textile Scope には、日本各地から 100 社を超える生産者が参加しており、幅広い技術と素材が一堂に集結します。未来のデザイナーである学生の皆さんには、今回のセミナーを通じて改めて自ら

の作品制作において「日本の生地を使う」という選択肢を持ち、その可能性を感じて頂ける機会です。
今回は、注目の若手デザイナーもパネリストにお招きし、クリエイションに係る実話を語っていただきます。

●What's Next Scope セミナー「卵殻膜から生まれた新繊維 ovoveil」

日時：11 月 14 日 13:30-12:30

会場：2F イベントスペース

講師：古賀 啓太氏（株）ファーマフーズ 開発部 次長

株式会社ファーマフーズはタマゴを材料として、健康美容素材を開発する研究開発企業です。
この度、廃棄される割卵残渣の新規用途として、卵殻の内側のタンパク質の薄膜「卵殻膜」を再生セル
ローズ繊維と共に紡糸し、新規機能性繊維「ovoveil(オボヴェール)」を開発。
本繊維は風合いに優れ、独自のヘルスケア機能を有する新しい機能性繊維で、その特徴と可能性を語
ります。

■What's Next セミナー他イベントスケジュール

11 月 12 日（水）		
Fashion Show 【2F イベントスペース】	13 : 00- 13:30	「Piggy's Special」 ピッグスキンファッションショー Academia Collection 専門学校 6 校
Fashion Show 【2F イベントスペース】	15 : 00- 15:30	「Piggy's Special」 ピッグスキンファッションショー Academia Collection 専門学校 6 校
Fashion Show 【2F イベントスペース】	17 : 00- 17:30	「Piggy's Special」 ピッグスキンファッションショー Designer Collection MAHOROOGINO（マホロオギノ） 荻野 菜藍 HOUGA(ホウガ) 石田 萌 Natsumi osawa（ナツミオオサワ） 大澤 夏珠

11 月 13 日（木）		
Seminar 【2F イベントスペース】	10 : 30- 12 : 00	2027 春夏 ファッションインフォメーションミーティング （言語：フランス語・日本語逐次通訳） 講師：ボリス・プロヴォ 氏（ブルミエール・ヴィジョン イ ンターナショナル・ディベロップメント・マネージャー）
Seminar 【4F 第二会議室】	10 : 30- 12 : 00	オーストラリアのウールトレーサビリティ（ウールマーク） 講師：西沢 智裕 氏（ザ・ウールマーク・カンパニー商 品開発・教育・ライセンス担当マネージャー）

Seminar 【2F イベントスペース】	13 : 30- 14 : 30	「Scope on Wool」ウール産地の今とこれから モデレーター：宮浦 晋哉 氏（㈱糸編 代表取締役 /JFWO テキスタイル事業 プロジェクト担当） パネリスト：岩田 善之 氏（㈱イワゼン代表取締役）、足立 聖 氏（Canale Japan(㈱マイスター)、大滝 友達 氏（中伝毛織(㈱)企画部チーフデザイナー）、安江 滋 氏（ザ・ウールマーク・カンパニー ビジネス・デベロプメント・マネージャー）ほか
Award 【2F イベントスペース】	16 : 30- 17 : 30	JFW NEW CREATOR AWARD 表彰式
Reception 【2F イベントスペース】	18 : 15- 20 : 00 (18:00 開場)	JAFIC PLATFORM マッチング 主催：一般社団法人日本アパレル・ファッション産業協会 ※マッチングイベント開催のご案内 別添

11 月 14 日（金）

Seminar 【2F イベントスペース】	11 : 30- 12 : 45	「日本の生地が広げるクリエイションの可能性」 モデレーター：宮浦 晋哉 氏（㈱糸編 代表取締役 /JFWO テキスタイル事業 プロジェクト担当） パネリスト：(株)ユナイテッドアローズ 上級顧問 栗野 宏文氏、小林 祐 氏（IRENISA デザイナー）、 安倍 悠治 氏（IRENISA デザイナー）、 舟山 瑛美 氏（FETICO デザイナー）
Seminar 【2F イベントスペース】	13 : 30- 14 : 30	What's Next Scope「卵殻膜から生まれた新繊維 ovoveil」 講師：古賀 啓太氏（㈱ファーマフーズ 開発部 次長）
Seminar 【4F 第三会議室】	13 : 00- 15 : 00	「製品の情報開示ガイドラインに対してウールができること」 講師：第1部：篠原 諒太 氏（経済産業省 製造産業局 生活製品課 課長補佐） 第2部：西沢 智裕 氏（ザ・ウールマーク・カンパニー 商品開発・教育・ライセンス担当マネージャー）

●TTS 会期中記者会見

日時：11 月 14 日（金） 10:00-11:00

会場：4 階第一会議室